

平成22年度むつ小川原地域・産業振興プロジェクト支援事業採択一覧

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
1	青森市	人材育成	障害者の人材育成及び地域の活性化	特定非営利活動法人 夢の里	1,000	知的障害者と関係者が全国一の生産量を誇る青森市特産のカシス栽培に取り組み、収穫から加工までの一連の作業を行う中で、希望と喜びを分かち合うとともに地域産業への貢献を図る。
2	青森市	商品開発	ナマコの食ブランド化推進事業	あおりナマコブランド化 協議会	550	新幹線新青森駅開業に伴い交流人口の増加が予想されるのに伴い、近年市内での生産量が順調に増加しているナマコを観光客等に提供しブランド化を図るために、夏季の禁漁期間でも、周年にわたり提供可能な特色のあるナマコ加工商品を開発する。
3	青森市	市場・販路開拓	地域力創出の為に中心商店街活性化推進活動と地産地消連携事業	現青森駅周辺活性化推進 会	2,000	東北新幹線新青森開業を控え、地産地消の都市型産直システムの形成による地域経済・中心市街地の活性化と異業種交流による地域としてのマインドの活性化・共有化を図るため、産地と商店街の交流を図る「交流会議」を組織して、青森駅前公園広場を活動の拠点として、「産地直売市」の定期的開催、文化交流事業として市民・県民参加型イベント等の開催、また12月には、新幹線・青い森鉄開業歓迎イベントを開催する。
4	青森市	市場・販路開拓	商農連携と新幹線開業対策事業	青森市新町商店街振興 組合	1,420	新幹線新青森駅開業に併せて、開業1週間にわたって商農連携による「産直市場」をテント市（約50坪の大型テント）として開催し、食材の宝庫である青森を観光客・ビジネス客にアピールしつつ、地元客にも地産地消の拡大を図り、地域経済の活性化に取り組む。
5	青森市	市場・販路開拓	青森食の継承と発展（キャリア教育） 未来に向けた魅力ある「エコ市場」の創設と 活性化事業	市場活性協会	1,200	アウガ新鮮市場を全国にない先進的な「エコ市場」として確立し、市場の再活性化を図るため、新たな取り組みとして「エコポイントカード」を作製し、地場産品購入の際に金額に関わらずお得なポイントを進呈し、市場離れ、魚離れ等の回避につなげる。また、幼稚園・保育所、小中学生を対象に、地場産品への注目を図り、地産地消の重要性を理解していただくキャリア教育も実施し、場内に子ども達のレポートを掲示したりして、意欲の向上と市場の集客にも繋げていく。
6	青森市	市場・販路開拓	青森味噌カレー牛乳ラーメン普及宣伝事業	協同組合 青森味噌カレー牛乳ラ ーメン普及会	600	東北新幹線青森駅開業を見据え、青森独自の食である「青森味噌カレー牛乳ラーメン」をお土産ラーメンとして、駅、空港、物産館、通販、ネット等により全国販売するほか、全国主要都市で行われる物産店等への出店、宣伝用ポスター・パンフレット等の作成・配布を行い、全国的な知名度アップ、普及促進を図り、地域の活性化に繋げる。
7	青森市	市場・販路開拓	青森市浪岡地区「市場・販路開拓」事業 中世の里なみおか“新発見”第1回食と産 業まつり	中世の里なみおか“新発 見”第1回食と産業まつ り実行委員会	440	現在取り組んでいる新たな特産品やお土産品の開発・発掘の成果を「中世の里なみおかの新たな発見」として、一堂に紹介・販売する「見える化」イベントとして開催し、地域住民にも地元食材に理解を深めていただき、地元特産品の消費拡大を図るとともに、都市からの来訪者と地域住民が多様な交流を展開する場として情報発信する。
8	青森市	市場・販路開拓	浪岡ホットアップルサイダー普及事業	PaSaPa青森・地域社会づ くり研究会	480	リンゴ生産地・浪岡で、東北新幹線青森開業効果を効果的に活かすため、リンゴジュースの固定観念を取り払った、新感覚飲料として浪岡ホットアップルサイダーを研究・開発し、各種イベント、情報誌、メディア、インターネット等を通じて全国的に情報発信し、県内はもとより全国的な販売展開を行い、リンゴの消費拡大を図る。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
9	青森市	市場・販路開拓	航空100周年記念 青森空港「空の日」参画共感事業～みんなでつくる夢・感動空間「青森空港」へ～	「青森空港・空の日」記念行事実行委員会	1,500	航空100周年を機に県民や空港利用者に青森空港をより身近に感じていただき利用促進に繋げるため、記念事業として、青森空港の愛称・マスコットキャラクター等の各種公募を行い、入選者には関係機関とともに就航先で自らの作品によるPRを行ってもらうなど、広報媒体・手法に工夫を凝らした広報活動を併せて行い、青森空港利用促進のアピール展開を行う。
10	青森市	観光開発	コスモスの里づくり推進事業	青森市観光レクリエーション振興財団	700	「雲谷高原コスモスまつり」は、9月の行事として定着してきたが、新幹線新青森駅開業前に、コスモスの作付面積を倍増させたり、色とりどりのコスモスを活用した迷路やアートを創作したりして「コスモスの里」づくりを進めるとともに、写真コンテストや撮影会、各種体験教室などのイベントを開催し、青森県のインパクトのある観光資源として、県内外の観光客にPRする。
11	青森市	観光開発	浅虫温泉で一番古い古民家を活用した体験観光の拠点整備	特定非営利活動法人 活き粋あさむし	2,000	新幹線新青森駅開業に向けた「食と農の体験観光」を本格的に始動させるため、古民家を借用した体験プログラム(料理教室)に必要な調理設備を整備し、新たな観光ビジネスによる雇用の創出を図る。
12	青森市	観光開発	冬季観光活性化事業	社団法人 青森観光コンベンション協会	1,800	新幹線新青森駅開業を好機と捉え、青森県観光の大きな課題である冬季の誘客を図るため、青森市を起点とした冬季観光やイベント情報を一つにまとめ上げた観光商品を造成し、新たなみどころも提案・紹介した観光情報誌にまとめあげ、県内外及び客層を控ったターゲットへの情報発信を行う。
13	青森市	観光開発	「善知鳥の浜流騎馬大会」実施による観光開発事業	善知鳥の浜流騎馬大会実行委員会	1,000	2007年より合浦公園で開催しているが、年々観客・競技参加者も増え、21年度には国内初のアジア大会として、韓国、モンゴルの騎手11名が参加し、世界各国の方々と更なる交流を深めることができた。このアジア大会を受けイギリス、フランス、アメリカからも参加打診があり、2010年は新幹線新青森駅開業年の国内初の世界大会として位置づけ、秋の新行事としての定着を図る。
14	青森市	観光開発	青森市と周辺地域における歴史街道を巡る観光のツール開発とガイド育成事業	あおもりかいどう会議	1,400	新幹線新青森駅開業を控えて、青森市とその周辺の歴史文化や食文化に触れることを望んでいる中高年の観光客をターゲットに、中世から近代にいたる街道と湊の歴史を尋ねて観光できるように、そのコンテンツを調査し、これに基づいてマップを作成するとともに、コースガイドを養成するための講座を開催する。
15	青森市	環境整備	「あおもり光のファンタジー」開催事業	社団法人 青森県観光連盟	3,000	新幹線全線開通に伴い、交流人口の増加が見込まれることから、青森市の中心市街地とベイエリアにおけるシンボリックな存在である青森県観光物産館アスパムを魅力的にライトアップし、市内の夕方から夜にかけての周遊性を向上させ、青森市の都市型・滞在型観光の魅力を向上させる。
16	青森市	スポーツ・文化交流	縄文の杜・あおもりツーデーマーチ	縄文の杜・あおもりツーデーマーチ実行委員会	1,000	ウォーキングの祭典としてだけでなく、本県観光事業の大きな目玉のひとつとして、青森の産業振興の一役を担うため、りんごの収穫時期である10月中旬に「三内丸山縄文遺跡」をメイン会場とし、県内外から多数の参加者を集めてのウォーキング大会を開催し、秋の恒例行事としての定着化と参加者増によるメジャー大会化を目指す。
17	青森市	スポーツ・文化交流	『運命の従兄弟生誕100周年特別展 < 修羅の画家 阿部合成・大地の画家 常田健 >』	特定非営利活動法人 NPO 娑婆羅凡人舎	760	郷土芸術家阿部合成、常田健二人の生誕100年にあたり、地元地区の文化の発展と地域活性化を図るため、関係方面の協力を得て、中世の館で生誕100周年特別展を開催する。開催にあたり新浪岡駅交流センター及び道の駅アップルヒル情報交流室を活用した専用の宣伝ブースを設けるとともに、全国的美術館・博物館にも宣伝し、全国からの集客も図る。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
18	青森市	スポーツ・文化交流	青い森アリーナ スノーフェスタ2011	スポルト青い森グループ	500	若年層にスポーツに関心を持たせ、競技力向上や健全育成を図るため、県内の小学生を対象とした雪上ドッジボール大会、中学生を対象とした歩くスキー大会、その他チームで参加できる雪だるまコンテスト等、誰でも楽しめるイベント満載のスノーフェスタを開催する。
19	青森市	スポーツ・文化交流	あおもり国際版画トリエンナーレ2010開催事業	あおもり国際版画トリエンナーレ2010実行委員会	3,700	平成10年から3年毎に開催され日本を代表する版画公募展として地歩を固めてきた標記事業についても4回目となり、国際公募展として国内外から作品を募集し、受賞作品及び入選作品は国際芸術センターに展示し、市民に優れた版画作品に触れる機会の充実を図るとともに、「版画の街あおもり」の魅力や個性を国内外にアピールする。
20	青森市	その他	「開催！青森 冬場所 地場産の美味しい材料で、目指せ“鍋横綱”！」	青森市中心商店街女性部	1,400	「青森の冬のお楽しみ」である鍋料理に着目し、「青森ならではの豊富な食材を活用した募集参加型の「鍋コンテスト」を開催し、定例化することにより、「青森のイメージアップ」、「新ヒットメニュー開拓による新しい名物発見」により、冬期間の中心商店街の来客者増と活性化、新幹線新青森駅開業効果の増大を図る。
21	青森市	その他	「ベビーカーツアーから、子育てに優しい商店街づくりとその発信へ」	青森まちなかマーケティング市民委員会	800	青森市の中心市街地に賑わいを取り戻し、多くの世代が交流するまちなかにしていくため、まず子育て世代を対象に「まちなかベビーカー・ツアー」を展開し、郊外居住の若い母親を呼び込み、まちなかづくりへの課題発掘と整理を行い、行政、中心市街地活性化協議会及び商店街へ提言するとともに、個店や商店街のソフトサービスを充実させ、ベビーカーに優しい商店街づくりを進める。
22	弘前市	人材育成	弘前里山悠環ツーリズム受入体制推進事業	弘前里山ツーリズム	1,240	弘前里山悠環ツーリズムの受入体制を確立するため、研修や講習会などの開催を通じて、新規受入農家の勧誘を促進し、感動請負人としての実践農家の拡大を図るとともに、都市農山村体験交流の推進による弘前市の農業振興・地域活性化に寄与する。
23	弘前市	市場・販路開拓	上土手町町会80周年記念事業(商店街PR及び販促強化) ～歩いて・感じて・上土手～	弘前上土手町商店街振興組合	1,430	上土手町商店街を「地域コミュニティの街」として確立し、各個店の連携を図りながら県内外に情報発信し、中心商店街に消費者が戻ってくるような魅力ある街づくりに繋げる。そのため、ホームページをレベルアップし、各個店から新商品・おすすめ商品等の情報をリアルタイムで掲載し、発信できるようなシステムを構築し、多くの消費者にアクセスしてもらえるよう、商店街で開催しているイベントを活用して、うちわ・パンフレットの配布、キャラクターを使ったPR活動を行う。また、商店街の後継者・担い手の人材育成のための座談会(勉強会)を開催し、内容は記録し今後の商店街存続に活かす。
24	弘前市	市場・販路開拓	コンパクトでデザイン性に優れた新商品「津軽塗仏壇」の販路開拓事業	津軽漆芸協同組合	1,000	当組合で開発したマンション住まいに対応したコンパクトでデザイン性に優れた新商品「津軽塗仏壇」の関東等大都市圏でのPR及び販路開拓に繋げるため、展示会・商談会へ参加するとともに、パンフレット・リーフレットなどを作成する。
25	弘前市	観光開発	映画「津軽百年食堂」を活用した観光プロモーション事業	社団法人弘前観光コンベンション協会	800	映画「津軽百年食堂」のロケ地に看板を設置したり、映画のロケ地マップ等を作成したりして新たな観光資源として活用するとともに、物語に登場する地域の食文化「津軽そば」にスポットを当てた誘客宣伝を展開し、観光客の入込み増員を図る。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
26	弘前市	観光開発	弘前冬季観光推進100+ワンちゃん事業	弘前雪明り実行委員会	1,000	観光客の入込みが落ち込みをみせる冬季観光の魅力度向上と季節資源の有効活用を図るため、弘前市出身で世界的現代美術作家の「奈良美智」さんの協力を得て、「AtoZメモリアルドック」のある吉野町公園において、市民が雪で小さなわんこ(犬)を100匹製作する他、雪で造るカフェコーナーの設置、キャンドルライトやコンサートなどのイベントに取り組む。
27	弘前市	環境整備	環境配慮型ライトアップによる魅力あるまちづくり推進事業 (エレクトリカル ファンタジア2010)	エレクトリカル ファンタジア	1,700	平成22年冬は、エレクトリカルファンタジア20周年の節目の年として、市役所から桜大通り、元町交差点のイルミネーションのLEDへの転換や東北新幹線新青森駅開業に連動した弘前駅のイルミネーション装飾等に取り組み、冬季観光客の誘致と明かりを通した憩いと安らぎの場の創出に寄与する。
28	弘前市	その他	第29回全国城下町シンポジウム津軽弘前大会	社団法人 弘前青年会議所	1,500	2010年東北新幹線新青森駅開業、2011年弘前城築城400年を絶好の機会として捉え、観光都市であり城下町である弘前の魅力をPRし、特産品の需要拡大や地域活性化に貢献できるオビニオンリーダーを育成するため、全国の城下町にある青年会議所役員数千人を集めた本大会を開催し、地域活性化のための基調講演・分科会、広域的な観光ルートの開発につながる観光地を巡回するエクスカージョン及び城下町ナイトなどの行事を実施する。
29	八戸市	人材育成	起業家構成講座	八戸大学・八戸短期大学 総合研究所	1,200	起業家を育て、地域に雇用の場を創出するため、「10年で100人の起業家を青森から」をテーマに、講師陣は実際の起業家や各分野で起業に携わっている第一人者が務め、主任講師を中心とした実務家が最新のノウハウを伝授し、理論的バックアップを本学の教授、準教授が行い、受講終了後もアドバイスをいただけるフォローアップも充実した講座を開講する。
30	八戸市	商品開発	もち性小麦「もち姫」を素材にした菓子土産品開発事業	八戸菓子商工業組合	800	もち性小麦の新品種でお年寄りでも飲み込みやすい特性を持った「もち姫」を素材とした新しい菓子土産品(クッキーとまんじゅう)の商品化を目指すため、専門家から商品の完成度を上げるための助言をいただくとともに、市民公募のデザインによる共通の包装紙・販促媒体(ポスター・のぼり)等の制作を行うほか、試食会を開催し商品のPRを行うとともに、モニタリング調査を実施し、消費者評価による最終的な商品改良を行っていく。
31	八戸市	市場・販路開拓	観光誘客・産業観光事業の推進を目的とした八戸地酒ブランド形成事業	八戸地酒研究会	600	近年、地酒のシェアが低下している状況下において、地酒の魅力や価値特徴・こだわりを消費者に伝達するため、飲食店・観光事業者・食品事業者等向けに地酒の価値を考察する研修会を開催するとともに、接客に利用可能な消費者向けの地酒マニュアルを作成したり、地料理とのマッチングを検討する研修会の開催や、蔵元における産業観光事業を実施する。
32	八戸市	市場・販路開拓	生産者と料理人のコラボによる、あおもりスローフード商品の開発・販促事業 ～スローなフードにしてくれ！(I Want AOMORI Slow Foods!)～	八戸スローフード協会	2,000	生産者・飲食店などが連携し、スローフードの理念を活かし、消費者のニーズにあった青森県産品の「食」の新商品づくりとプロモーションのため、料理人が直接生産者を訪問するマッチング事業とその成果を商品化に結びつけるためのフェアを開催する。また、「スローフード全国大会」を招聘し、新商品の全国へのお披露目を通じて、商品化に弾みをつける。
33	八戸市	観光開発	陸奥湊駅前朝市「日本一の朝ごはん」推進事業	八戸市魚菜商業協同組合	700	数年前から、朝市で朝ごはんを食べるというスタイルが広まり、H20年からは「あさぐる」の運行も始まり、宿泊客が朝市でご飯を食べるという企画が全国から注目され、観光客が増えている一方で、トイレの場所や朝ごはんの食べ方、朝市周辺の見所などについて詳しく教えて欲しい等の要望があり、その声に応えるため、朝市及びその周辺のパンフレットを作成し配布するほか、魚菜小売市場内の案内表示を整備し、利用客の利便性向上を図る。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
34	八戸市	その他	生活のための日本語教室 在住外国人の日本語コミュニケーション能力を高め、地域の人々との交流を促進する	特定非営利活動法人 みちのく国際日本語教育センター	360	県南地域に在住している外国人が、地域で円滑な社会生活を営み、就労の機会を得ることができるようにするため、段階を踏んだ体系的な日本語学習の場を継続して確保する。
35	八戸市	その他	「白銀おしまこ(盆踊り)」の普及と伝統芸能の復活に係る地域活性化事業	白銀公民館サポート「男の料理」	820	青森県三大おしまこの一つの「白銀おしまこ」やその他地域の伝統芸能の普及と復活に取り組むことにより、住民間での仲間づくりや団結を促し、今後の地域力(住民力)とするとともに、近隣地域にも波及させ、地域交流の輪をつくり上げる。
36	五所川原市	技術開発	電照菊LED栽培実証事業	五所川原市川山地区電照菊LED栽培研究会	600	LEDを活用したハウス2棟規模での電照菊の開花調整の実証実験を行い、低コストで環境にやさしい電照菊の栽培技術を開発するとともに、県内電照菊栽培農家の所得向上に貢献する。
37	五所川原市	商品開発	観光ルートバス「立佞武多号」の運行	五所川原商工会議所	2,800	東北新幹線青森駅開業に伴い、津軽西北五地域の観光施設への交通アクセスの利便性を高めるため、4月～8月までの期間、五所川原駅前観光案内所から「立佞武多の館」～「三味線会館・斜陽館」～「津軽金山焼き」間でルートバスを試験運行させ、利用者からアンケートをとるなどデータを収集分析して採算ベースや利便性を検証する。
38	五所川原市	市場・販路開拓	「十三湖産大和しじみ」プロモーションDVDを使った販売促進事業	十三漁業協同組合	260	県内外の店頭販売やイベントに参加して「十三湖産大和しじみ」の販促活動を展開してきたが、活動における関係者・専門家等に要する費用がかかり、出店回数が制限されることから、新たにプロモーションDVDを作成することにより、効率的・効果的な販促活動が可能となり、経費の節減と活動回数の増加に繋がるとともに、地元小・中学校へ教材として配布し、地産地消、食育の推進に寄与する。
39	五所川原市	観光開発	東北新幹線全線開業に向けた首都圏観光キャンペーン「四大まつり競演」事業	五所川原市	2,770	新幹線全線開業に併せ、首都圏での開業気運を一気に高め、開業インパクトへ結びつけていくために実施する原宿表参道でのオープニングキャンペーンに青森ねぶら・弘前ねぶた・八戸三社大祭とともに五所川原市では立佞武多を出陣させるものである。
40	十和田市	観光開発	東北新幹線七戸十和田駅開業に向けた「あおもり二大湖」観光資源&ルート情報発信事業	十和田エイト・ライン観光協議会	2,250	東北新幹線七戸十和田駅開業に向け、当該地域の季節毎の魅力効果を効果的に発信する連携体制を確立するため、七戸町・東北町・三沢市の3自治体を中心とする「小川原湖」エリア、七戸町・十和田・新郷村の3自治体を中心とする「十和田湖」エリアの両方において季節ごとの旬の観光情報発信ペーパーを作成・発行し、北東北3県の新幹線駅や道の駅、レンタカー営業所、観光案内所・宿泊施設などに設置し、主に近隣を車で移動する観光客を中心に発信する。
41	むつ市	市場・販路開拓	3漁協販売力強化事業	むつ市・川内町・脇野沢3漁協協議会	1,130	むつ市内の3漁協の事業統合の試験的な取り組みとして、ほたて貝の宅配事業に一体的に取り組むとともに、各漁協の特産品であるほたて貝(むつ市漁協)、赤貝(川内漁協)、平目(脇野沢漁協)の付加価値を高めるための加工商品の開発に着手する。
42	むつ市	市場・販路開拓	地域特産品販売戦略及び地産地消運動協力店推進事業	むつ市	1,400	むつ市産品の販路開拓と地産地消の推進を図るため、むつ市地産地消運動協力認定店51店舗が一堂に会して開催する予定の「感謝祭」を成功させ、全国へ情報発信するため、販促グッズや新たな着ぐるみ(「ムッシュ・ムチュラン1世」の妻)を作成し、集客力アップの起爆剤とする。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
43	むつ市	市場・販路開拓	大湊海軍コロッケによる下北半島地域おこし事業	大湊海軍コロッケ普及会	700	「大湊海軍コロッケ」を新たな食ブランドとして定着させ、地域内における大湊海軍コロッケの普及促進・認知度の向上を図るため、大湊海軍コロッケ感謝祭を開催する。
44	むつ市	その他	むつ市大湊地区商店街空き店舗活性化事業	協同組合 むつ専門店会	640	空き店舗が増加し、衰退している大湊地区商店街の活性化と賑わいを復活させるため、空き店舗対策実行委員会を立ち上げ、先進地を視察するなどして、空き店舗の再利用を核とした振興策を検討する。
45	むつ市	その他	子ども達にネプタを！ネプタで地域一体化！ 田名部駅通り商店街「ネプタまつり&盆踊り2010」	田名部駅通り商店街振興組合	1,000	2009年に少子化や人手不足等により廃止された商店街周辺町内の子供ネプタを復活させ、それに併せて地域商店街のイベント(盆踊り・夏祭り)を開催し、子ども達の記憶に残る夏のイベントとして定着させ商店街の活性化・集客を図る。
46	つがる市	商品開発	地域素材まるごと活用事業	ふるさと産品開発プロジェクト協議会	900	ごぼうの規格外品を利用した新たな特産品を開発し、地域の活性化と雇用の拡大に繋げるため、平成21年度からごぼう入り味噌、ごぼうのアクを利用した消臭スプレーの開発に取り組んでいるが、今年度は完成品製造、容器購入、パッケージ製作を行い、引き続き関東地区在住「ふるさと応援隊」の協力を得て流通体制を構築し、特産品誕生を目指す。
47	つがる市	観光開発	「亀ヶ岡桜まつり」開催による観光資源開発事業	つがる市観光協会	770	つがる市館岡地区の平滝沼公園は年々整備され桜も1000本を数えるところまで来たが、これまであまりPRしてこなかったため地元においても知名度が低くなっている。このため、「亀ヶ岡桜まつり」と銘打った桜まつりを開催し、地域活性化、誘客及びイメージアップ・PRを図り、「平滝沼公園の桜」をつがる市の新たな観光素材として確立させる。
48	つがる市	環境整備	津軽鉄道五農高前停留所環境整美事業	特定非営利活動法人 つがる夢庭志仙会	500	津軽鉄道五農高前駅舎の老朽化が著しく、美観も損なわれていることなどから、駅舎を五農高生の体験学習の場として提供し、外周を雪に対する耐久性のある石積みにする基礎工事や、外壁のリフォーム、内装のリフォーム、待合室のベンチの取り替え、展示用テーブルの製作をし、駅舎前と一体感を持たせる景観に整備する。また、整備後は五農高生が生産した農産物や、バザー等の展示にも活用する。
49	平内町	市場・販路開拓	活ほたて貝デリバリーシステム実証実験	平内町漁業協同組合	1,200	低価格化による大型貝減産からの脱却を図るため、特に魚介類の需要が高く、個人的宅配用に限られている九州地区をターゲットとし、高価格販路開拓のための販売実証試験として、佐賀県呼子市で活イカをブランド化し著しい成果を示している呼子漁協と協働でデリバリー販売を試験的に実施する。
50	平内町	スポーツ・文化交流	初代高橋竹山生誕100周年記念コンサート ～竹山100周年の旅 音楽祭～	初代高橋竹山生誕100周年記念コンサート実行委員会	2,000	高橋竹山の生誕100周年を祝いその功績を称えとともに、出身地「東津軽郡平内町」の全国への認知、平内文化の促進と高揚を図るため、全国からお弟子さん達に集まっただき、合同による記念コンサートを開催する。
51	平内町	その他	「ふるさと」を元気にする事業	未来創造ひらない塾	800	「ひらない夏まつり」の不況による規模縮小等の現状を回避するため、実行委員会とは別組織で、小・中学校、高齢者施設、行政区への灯籠画募集・事業PRを行う他、魚のつかみどり大会や、会場近くの河川敷をキャンドルやイルミネーションで装飾し、まつりに活力を与える。また、年1回町立病院の中庭をイルミネーションで装飾し、「よさこいソーラン」祭・ピアノ演奏会を開催し、まつり以外でも地域活性化を図る。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
52	外ヶ浜町	その他	特産品販売施設整備事業	平館観光協会	1,600	平館地区には海産品の直売施設がなく、観光客等の購買ニーズに応えられずにおり、また数十年にわたって開催している「ウニの日」イベントも、保健所よりこのままでは食品衛生法上問題があるとの指導を受け、これをきっかけに「道の駅たいらだて」地内に、通年で魚介類の販売、イベント開催ができる屋根、水道施設、冷蔵設備のある施設整備を図る。
53	鱒ヶ沢町	商品開発	鱒ヶ沢町新特産品開発事業	鱒ヶ沢町新特産品開発女性クラスター	730	町内の女性による起業活動を促進し、女性による地域活性化を図るため、地域の未利用資源で雑魚扱いである「小鱒」を活用した「鱒ふりかけ」を商品開発し、町名の由来となった「鱒」に物語性を付けて、二重の付加価値を付けた商品としてマーケティング・リサーチするとともに、販売戦略に対応した販促ツールを検討する。
54	鱒ヶ沢町	市場・販路開拓	「青森・赤石川の金の鮎(食用)」販売促進事業	鱒ヶ沢町	2,400	以前より県内及び町内のホテル・旅館業者等から要望のある食用アユの通年販売に応えるため、夏季に生産されたアユを冷凍保存し通年販売を行い、新幹線青森駅開業に合わせ「青森・赤石川の金の鮎」を当町の優れた食材としてPRし、県外観光客の誘致につなげたい。
55	深浦町	商品開発	ふかうら雪人参を活用した商品開発事業～ベジタブルピネガー「雪人参酢」の開発～	深浦町商工会	1,100	東北新幹線新青森駅開業により増加が見込まれる観光客に食を通して、地域の魅力をアピールするとともに、地域経済の活性化を図るため、「ふかうら雪人参」を活用した「人参酢」を開発し、特産品として「飲む酢」などのほか、広く県民に知ってもらうため「調味料」として活用した「料理コンテスト」を開催し、特色ある地域料理創出に寄与する。
56	深浦町	スポーツ・文化交流	FUKAURA MUSIC FESTIVAL in WeSpa (深浦ミュージックフェスティバル in ウェスパ)	深浦ミュージックフェスティバル in ウェスパ実行委員会	1,500	音楽をツールに、日本各地から観客を呼び込み、地域の情報発信と活性化、宿泊等の波及効果を図るため、深浦出身のミュージシャン(実行委員長)の呼びかけにより、アマチュアバンドを集めたライブやプロのアーティストを招いたスペシャルライブを開催する。
57	七戸町	人材育成	電気自動車による産業活性化事業	七戸町	1,740	低炭素社会実現に向けて、電気自動車の普及と、それに伴う町内の整備工場に電気自動車整備の知識を身につけてもらう。また、軽車両電気自動車を購入し整備車両として使用するほか、各種イベント等で活用し普及啓発を図る。
58	七戸町	その他	「のれん」で元気を取り戻せ！！ in 七戸中央商店街	しちのへ若駒商人隊	1,500	東北新幹線七戸・十和田駅開業を控え、駅周辺から中央商店街への誘客を促進し、商店街の活性化に繋げるため、城下町の街並みを生かしつつ各商店が一目でわかる【屋号・店名・家紋】が入った統一感のある店頭幕(のれん)を設置し、あわせて取扱商品等の見直しも行き、各店が各店舗の歴史を踏まえた店頭づくり、ゆっくり見て楽しめるおもてなしの空間づくりに努める。
59	横浜町	商品開発	横浜町産菜種油の食用以外の商品開発事業	特定非営利活動法人菜の花トラストin横浜町	1,600	菜の花を守り育て、菜種事業としての自立を図るため、近年、アロマテラピー市場において、エッセンシャルオイル・キャリアオイルの需要が高まっていることに注目し、菜種油の食用以外の分野への進出を目指し、油の成分分析を行うとともに、エステティックサロン等によるモニタリング・アンケート及び有名アスリートによる使用評価を行い、商品化を目指す。
60	東北町	市場・販路開拓	小川原湖水産資源消費拡大キャンペーン事業	小川原湖漁業協同組合	1,250	ブランド化が遅れている小川原湖の水産資源について、食材の魅力向上と食の魅力による誘客を促進するため、通年キャンペーンとして月1回の水産資源を活用した料理の試食会や小川原湖の水産資源にこだわった料理や物産が味わえる「小川原湖の『極』大満足祭」を開催し、消費拡大と地域の活性化に繋げる。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
61	大間町	市場・販路開拓	奥戸じゃがいもを中心とした複合型地域ブランド形成事業	奥戸じゃがいもブランド研究協議会	650	奥戸(おこっぺ)地区に110年間にわたって受け継がれてきた「オコっぺいもっこ」と称される「じゃがいも」品種を保護するとともに、希少性や限定性を背景として消費者に評価される地域ブランドとして展開するための生産体制の整備、認知度を高めるためのプロモーション事業や異業種連携による加工品の開発などに取り組むとともに、グリーン(ブルー)・ツーリズム事業に着手するための地域内でのホスピタリティマインドの醸成につながる講習会等の開催などを行う。
62	風間浦村	商品開発	ゆかい村鮫鱈ブランド化戦略事業	風間浦村	1,300	県内では、八戸市の次に漁獲量の多く、一般的な底引き網漁ではなく鮮度良好な延縄漁や刺網漁で漁獲する「鮫鱈」を風間浦村の新たなブランドとして育て、冬期間の誘客を図るため、「ゆかい村鮫鱈祭」を旅行社ともタイアップして実施し、鮫鱈の素材を活かした各種の料理によりおもてなしし、冬の下北の食材をアピールする。
63	佐井村	その他	光と音が奏でるハーモニー「アルサス開館20周年記念イベント」	アルサス活性化協議会	800	開館20周年を迎える津軽海峡文化館アルサスの冬期間の誘客促進を図りため、記念行事の一環としてアルサスの冬期イルミネーション装飾の点灯式に合わせ、レーザー光線と音楽ライブによる「光」と「音」テーマにした神秘的かつ独創的なショーや子ども参加によるクリスマスソングの合唱などのイベントを開催する。
64	三戸町	市場・販路開拓	さんのへガマズミサンド展開事業	三戸町商工会	520	三戸町の特産品であるガマズミを活用した新商品「ガマズミサンドウィッチ(お菓子)」の贈答・土産品用のパッケージの開発と試験販売を行い、まずは、地元消費を喚起することでの特産品としての定着化を図る。
65	東青	市場・販路開拓	こだわりの「あおり海道そば」育成事業	あおり海道そばブランド推進協議会	880	転作作物として県内随一の作付面積となっている東青地域のそば「あおり海道そば」をフルに活用して、特産農産物や海産物等と組み合わせた新商品を開発・商品化するとともに、環境にやさしいこだわりの栽培にも着目した実証試験を行うなどして、地産地消の推進や2010年12月の新幹線新青森駅開業に向けたPR活動を行う。
66	中南	市場・販路開拓	「りんごで感じる青森」総合PR事業	りんごで感じる青森総合PR協議会	1,790	今までは各団体や業者等がそれぞれのホームページの一部として発信していたりんごに関する情報を、一元的に体系化し、旅行者や消費者へ「見る・学ぶ・買う・味わう・体験する」に係る情報をまとめて発信するWEBサイトを作成し、新幹線新青森駅開業効果を最大限に活かした「りんご観光」の創出と、りんご産業全体の活性化を図る。
67	西	観光開発	日本海夕陽リゾート観光振興事業	深浦町観光協会	1,500	団体型の観光から滞在型・個人型へと変化している旅行スタイルに対応するため、西海岸3町(深浦町、鱒ヶ沢町、八峰町)の観光協会が県境を越えて連携して、観光人材を育成するとともに、地域の歴史・文化、習慣、環境等の宝を掘り起こし、この地域におけるストーリーをまとめ上げ、今まで点でしかなかったものを線に変え、観光客入込数を増加させ、地域経済の向上に繋げる。
68	上北	その他	「シネマ製作で地元の活性化と共にふるさとを元気に」	野辺地・平内・横浜・六ヶ所フィルムコミッション	480	七戸在住の作家「安田保民氏」の作品「あらあらかしこ - 郵便事始 -」を題材に県出身映画関係者をパネラーに招き、「映画製作を通じた地域づくり」の勉強会及び、関係団体等住民参加型フォーラムを開催し、住民参加型の映画製作へつなげる。
69	上北	その他	青森型植物工場研究事業	原子力産業と地域・産業振興を考える会	1,600	国が今後3年間で全国に新たに100の植物工場を整備する目標を提示し、支援メニューを打ち出していることを踏まえ、むつ小川原地域を一大植物工場集積地とするため、展示会、先進地調査等で情報収集を行い、植物工場に関心を有する県内企業を会員とした研究会を立ち上げ、講師を招き工場展開に向けた振興方針を検討する。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
70	下北	技術開発	サケ海中飼育実証試験事業	下北サケ海中飼育事業 推進連絡協議会	1,120	下北地域特有の単調な海岸線と強い波浪による放流直後の稚魚の消耗を抑制するため、波浪の少ない比較的静穏な漁港などでの海中飼育技術を導入し、下北地域から北洋へ向かう健康で元気な大型稚魚の育成実証実験に取り組む。
71	下北	商品開発	観光ルートバス試験運行事業	下北観光協議会	3,000	新幹線新青森駅開業後の下北半島内における二次交通を確保するため、下北半島内を周遊する観光ルートバスを試験運行(今回は冬期間も実施)し、乗客数の推移や乗客へのアンケート調査などのデータを取り、今後の本格運行に向けた体制構築のための課題を検証する。
72	下北	商品開発	下北地域への観光客誘致事業	特定非営利活動法人 あおもり観光・誘客推進 協会	1,540	首都圏の大手エージェントと連携して、青森～佐井間のシーラインを活用した下北地域の観光素材と組み合わせた団体旅行パッケージツアーを開発し、旅行情報誌に掲載するとともにパンフレットを製作し、ツアーの募集・催行により、下北半島への誘客促進と地域経済の活性化を図る。
73	下北	観光開発	観光客受入れ体制の整備とむつ下北PR事業	社団法人 むつ市観光協会	1,800	増加する個人、小人数グループへの宿泊情報をはじめとした観光交通情報を提供するため、Webでの宿泊予約システムを構築するとともに、滞在を促すための観光DVDを製作し、宿泊・観光施設、観光バス等で上映しPRする。更には、むつ市出身の「川島雄三」を記念して、むつ下北を舞台とした映画脚本を募集し、脚本づくりの参考としていただくためのツアーを首都圏対象に造成し誘客促進に繋げる。また、水源地公アーチ式ダムのライトアップ等を行い、新たな観光資源として発掘する。
市町村事業			採択件数	73件	助成額	92,520千円

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
74	全県	人材育成	プロ農業者によるイベント活動促進事業	青森県農業経営者協会	1,650	近年の農作物価格の構造的低迷、肥料・飼料等の高騰などから農業経営が圧迫されている情勢下、統一した問題意識のもとに経営改善に取り組むとともに、農家を鼓舞するイベントの開催が必要である。そのため、時代に即した経営改善のための講習活動、個別所得補償制度の調査・分析事業、また、新幹線新青森駅開業に合わせた「全国土の会青森大会」、「東北・北海道農業法人経営者大会in青森」を開催する。
75	全県	人材育成	演劇による地域活性化に貢献できる人材の育成・確保	青森県立美術館パフォーマンスアート推進実行委員会	1,150	セリフを覚える必要のないドラマリーディングにより、一般から公募された四季をテーマにした題材と出演者による年4回の創作・上演を行い、子どもから高齢者、初心者が気楽に楽しみながら作品を創作・公演するとともに、子どもの頃から芸術文化に親しみ創作を楽しむ心を育て、高齢者へは芸術文化によって生き甲斐を見いだす場を創るなど、幅広い年齢層を対象とした地域活性化を図る。
76	全県	技術開発	杉の間伐材を活用した生態系保全施設開発事業	青森県土地改良事業団体連合会	700	安定した農業用水の確保には、山・川・海をつなぐ水循環システムの健全な保全が不可欠である。農業用排水路や水田のほ場等(川)に、本県の地域資源である杉(山)の間伐材を活用した製品・施設を試験的に設置し、水生動植物の生態系の再生保全の効果を検証するとともに間伐材の有効活用に繋げる。
77	全県	技術開発	青森県における「夏秋いちご」の栽培方法の確立と普及事業 ～減農薬:IPM(総合的病害虫管理)の組み立て～	「夏秋いちご」減農薬栽培推進プロジェクト協議会	650	本県において新たな産地化が期待されている「夏秋いちご」について、IPM(総合的病害虫管理)の考え方のもと、病害虫の予防・観察・防除など段階を追った管理を行うことにより、農薬の散布回数を減らし、安全・安心で商品価値の高い夏秋いちごの生産体制の確立と普及を図る。
78	全県	商品開発	「旅と健康」をテーマとする観光商品開発事業	青森県商工会議所連合会	2,000	全国の商工会議所役員が一堂に会する「全国観光振興大会in青森」をあえて2011年2月という冬期間に開催し、マイナスイメージだった「冬のおももり」を地域資源として、「旅と健康」をテーマに「食」「温泉」「運動」「交流・体験」などをバランスよく組み合わせた観光モデル商品として開発し、当大会の2日目のエキスカッションとして全国の方々に体験していただき、必要な評価・検討を行い将来の観光振興に役立てる。
79	全県	商品開発	「旅百話青森」商品造成及び青森県内への誘客促進事業	JTB協定旅館ホテル連盟青森支部	540	新幹線新青森駅開業の効果を最大限に活かして、本県への誘客を促進するため、青森の魅力を引き出し、「温泉」、「自然」、「食」、「歴史・文化」などをの切り口から、青森のイメージ訴求及び認知度向上、青森への観光旅行喚起などを目的にJTBの「旅百話青森」のホームページの特設ページ作成等や誘客キャラバンなどの活動を行う。
80	全県	商品開発	新たな「アオモリ・アート」商品開発事業	社団法人青森県情報サービス産業協会	1,570	新幹線全線開業を控え、青森県の地域活性化を図るため、青森の豊かな自然や文化遺産(青森の古い景観写真・絵葉書、今純三等県出身アーティストの作品等)をテーマとしたデジタル素材と現代的なデザインの融合による新たなアオモリ・アート商品(Tシャツ等の衣料品、ハンカチ、バッグ等)を開発・製作・PRする。
81	全県	商品開発	青森県産バイオマス材料の活用用途開発と事業化検討	あおもりバイオマス材料研究会	1,370	青森県内バイオマス資源の有効利用を図り、地域の活性化に寄与する高付加価値な地場産業を育成するため、森林資源から得られる「木炭」や「木酢液」を活用した「エコ箸」や他に無い「薫製漬物」などの試作に取り組み、製品化を目指す。
82	全県	市場・販路開拓	内水面水産資源活用促進事業	青森県内水面漁業協同組合連合会	2,200	川での漁業と遊漁対象となっているヤマメ等の資源を増やすための種苗放流を強化するとともに、内水面水産資源の活用促進を図るための遊漁手帳やポスター等の作成・配布による啓発・普及活動に努め、県内外からの遊漁者の導入による地域の活性化と河川環境の保全を図る。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
83	全県	市場・販路開拓	活き活き青森県産ほたて宣伝促進事業	青森県ほたて流通振興協会	1,250	県産の良質なほたて貝について、県内外において理解を深めてもらうためにほたて貝の誕生から流通までを映像にしたDVDを作成し、蒸しほたて展示即売会や料理教室で活用することにより、ほたて料理の宣伝普及拡大に努める。
84	全県	市場・販路開拓	集結！！青森まるごとお宝自慢市！（仮称）開催事業	社団法人青森県観光連盟	1,680	新幹線全線開業を控えて、市町村(会員)との連携により、各市町村ならではの隠れた逸品や地域に伝承された郷土料理・芸能等を県内外に積極的に情報発信する「青森まるごとお宝自慢市（仮称）」を開催し、地域資源を生かした本県文化観光及び産業振興の推進を図る。
85	全県	市場・販路開拓	あおもりで元気になる。青森が元気にする。あおもり「地サブリ」プロジェクト	あおもり地サブリプロジェクト協議会	1,350	産学官連携による更なる機能性素材の研究開発、農工商連携等による健康志向型食品（サプリメント）等の事業化により、地域の産業づくりと健康づくりの推進を図るため、県内の豊富な農林水産資源を活用して開発した安全・安心な健康志向型食品の展示会への出品や健康雑誌及びインターネット上でのPRを行う。
86	全県	スポーツ・文化交流	第7回国内観光活性化フォーラム	社団法人全国旅行業協会青森県支部	1,000	東北新幹線全線開業前の4月、全国から1,000名程度の旅行会社や観光業者に青森に来ていただき、「第7回国内観光活性化フォーラム」を開催し、ブース設置による全国の旅行会社への青森県の観光地や県産品の紹介、また県内4コースによるエキスカージョンを実施し、開業後の観光客誘致促進と観光活性化の端緒にしたい。
87	全県	スポーツ・文化交流	青森・韓国FIT等促進事業	特定非営利活動法人あおもりコリアネット	960	韓国からのFIT（海外個人旅行）の誘致とともに、青森県側からの韓国旅行促進についての調査研究を行う。また、相互間においてホームステイを受け入れる交流型ツアーを実施するほか、旅行エージェントを巻き込んだ交流会や双方の関係大学での短期特別聴講、相手方の語学講座への参加を取り入れた新たなツアー等を検討し、旅行エージェントに提案し、更なる交流促進を図る。
88	全県	スポーツ・文化交流	青森県営スケート場アイスホッケーフェスティバル	青森県営スケート場利用者団体連絡協議会	1,000	ウィンタースポーツの盛んな青森でアイススケートを通じて次世代の育成と地域振興及びアイスホッケーの普及振興を図るため、アジアリーグに参加している東北フリースタイル（本拠地：八戸市）を招いたアイスホッケーフェスティバルを開催する。
89	全県	その他	遊休農地を活用した「マイ畑づくり」モデル事業	特定非営利活動法人あおもりふるさと再生機構（AFS）	950	過疎化や高齢化の進行、担い手不足等により生じる遊休農地を解消し、健全な農村環境を再生するため、遊休農地を活用した「マイ畑」をモデル農園として開設し、利用者を一般募集する。利用者は土づくりから収穫までの一連の作業に取り組み、野菜作りを通して食に対する意識や健康増進につなげる。
90	全県	その他	JA青森輸出りんご安定出荷対策事業	全国農業協同組合連合会青森県本部	1,800	りんごの台湾輸出へのリスクを軽減し、りんご栽培における安心・安全な減農薬栽培の推進を図るため、りんご害虫モモンクイガを防除する交信攪乱剤（コンフューザーR）の普及拡大を目指す実証ほを設置する。
91	全県	その他	りんご栽培における交信攪乱剤（コンフューザーR）を使用した害虫モモンクイガの防除と減農薬エコ農業の推進	青森りんご導入協議会	1,200	りんごの台湾輸出へのリスクを軽減し、りんご栽培における安心・安全な減農薬栽培の推進を図るため、りんご害虫モモンクイガを防除する交信攪乱剤（コンフューザーR）の普及拡大を目指す実証ほを設置する。
92	全県	その他	甕れ協同組合運動事業	青森県新漁業協同組合運動協議会	1,500	県内漁業者を対象に、漁業の抱える課題・問題等について、協同組合精神の原点に立ち返って、浜が一つになり対処できるようにするため、研修会等を開催し、組織強化を図る。

NO	関係地域	助成種目	事業名	事業実施主体	助成額	事業計画の概要
93	全県	その他	海難防止対策事業	青森県漁船海難防止・水難救済会	1,080	救命胴衣の着用率向上のため、研修会・講習会を開催するとともに、女性部員を救命胴衣着用推進員に任命し、家族からの着用の啓発普及を進めるほか、放送媒体の活用・防波堤への標語のペイントによる啓発活動を行う。
94	全県	その他	あおり交通ナビゲーション向上事業	あおり交通ナビ運営協議会	1,840	県では、新幹線全線開通を見据え、観光客の移動の利便性向上を図るため、県内鉄道・バス・航路・空路等の情報を一元化した「あおり交通ナビ」システムを運用しており、平成22年度には、開業時に欠くことのできない新幹線データ等の追加、並行在来線の延伸や二次交通に対応するためシステム改修、広報活動等を実施し、公共交通利用者の利便性向上、利用促進を図る。
95	全県	その他	DOSA！navi（どさナビ）サイト利用促進事業	DOSA！navi運営委員会	1,900	新幹線全線開業に備えて、県と民間が協働でタウン情報を中心とした地域情報を発信するサイト「DOSA！navi（どさナビ）」を構築しているが、本県の地域情報を充実させ、プラットフォーム化が図られるような企画コンテンツを新たに制作し、本県の魅力アップに繋がるような情報発信を行う。
96	全県	その他	ものづくり新世紀青森県元気企業顕彰事業	社団法人青森県工業会	800	昨年来の世界同時不況の中、ものづくりに係る中小企業は生産活動の減産を余儀なくされているが、製造業のチャレンジ精神を醸成し、高度なものづくり基盤技術への展開を促進するため、元気のある本県ものづくり中小企業を選定・顕彰する。
97	全県	その他	青森県市場食育祭開催事業 (食育啓発、地産地消推進事業)	青森県市場食育祭実行委員会	1,600	県内7ヵ所の拠点卸売市場2グループに分け、リレー形式で開催し、統一合同企画として「(仮称)市場からお届けします!あおり“うまいもの”フェア」、「食育」、「花育」、「地産地消」をテーマとした児童作品展を実施するとともに、モデル企画として、22年度は、準備の整った市場から青森の豊富な海の幸、山の幸を具材に使った手軽で美味しい自慢のおにぎりのコンテスト「(仮称)あおり おにぎりグランプリ」の開催も計画している。
98	全県	その他	青森県ものづくり企業展	特定非営利活動法人 テイクオフみさわ	1,100	出展企業の販路開拓、市場創出及び業務連携といったビジネス機会の拡大を図るため、技術的に十分世界に通用する県内企業約20社による企業展を開催し、独自の製品や技術紹介のパネル展示・映像上映を行うとともに、技術者によるワークショップを開催し、来館した子供たちに「ものづくり」の素晴らしさを体験してもらうことで、将来の職業選択の一役を担う。
99	全県	その他	東北新幹線全線開業記念エッセイと作文公募 「私の青森駅～思い出800字」(全国公募) 「ボクとワタシの新幹線～夢を語ろう400字」 (青森県内公募)	特定非営利活動法人 青森編集会議	1,300	約120年の歴史を誇る「青森駅」にまつわる人々の記憶を記録に残し、次代の人たちに引き継ぐとともに新幹線開業を全国に向けて情報発信するため、全国から「私の青森駅」(思い出)と県内の小中学生対象に「ボクとワタシの新幹線」(夢を語ろう)のエッセイ・作文を公募し、表彰するとともに、作品集として出版する。
100	全県	その他	認知症予防プロジェクト事業	特定非営利活動法人 青森音楽療法研究会	360	増加している認知症の予防に役立つとされる音楽療法の認知症予防のプログラムをつくり、長期的な実践とデータ収集をおこなうことで、認知症予防の音楽療法が確立されるきっかけとするため、一般の方々への認知症への理解を深めて、音楽療法の効果を検討するセミナーや関連職種の方々を対象とした実践講座を開催する。
全県事業			採択件数	27件	助成額	34,500千円
総計			採択件数	100件	助成額	127,020千円